

褒められることが、みんなをさらに向上させる!

ここに来て、ずいぶんと6組のみなさんは褒められることが多くなりました。特別なことをしているわけではないし、きっと宿題忘れだっただけに違いありません。でも、なぜか叱られるより褒められることが多くなってきたのは、小さなことでも助け合いが良いということにみなさんが気づいてきたからではないでしょうか。

私が、いつも本当に感心するのは、給食の準備の時間です。日直、給食当番やウェイターの人たちが支度をする前に、配膳台を出す・拭く、ワゴンを持ってくる、盛り付け始める・・・と、自主的に動く人たちがいることです。そして、この人たちが核に、手伝う人が増えていることです。きっと手伝うことで、お互いに気分よく過ごせることを体験しているのでしょう。

さて、昨日の「生活ノート」に、次のようなことを書いてくれた人がいて、自分たちの成長を自覚できてすばらしいことだなあと感じましたので紹介します。

2月14日(木)・・・13日ぶん

- ・ 今日、音楽で町田先生に褒められました。でも私たちは初め何で先生が褒めているのかわかりませんでした。気づかないうちにいいことができるようになるほど、成長したんだなあと思いました。これからもいいことで成長していきたいです。(A)
- ・ 最近、手を挙げる人が減っている気がする。だから、自分も今よりも手を挙げたい。音楽で先生に褒められた。次回からも褒められるようにがんばりたい。(B)
- ・ 今日、音楽の時間に町田先生に協力して机が運べていたので、「6組すごいねー」と褒められました。最近は、たくさん先生に褒めてもらうことが増えてきました。6組が成長できたのも、新井先生の指導のおかげです。ありがとうございます!(C)

AさんやCさんは、褒められていることをクラスの成長ととらえています。Cさんは、このことを担任に感謝する言葉まで添えてくれ、ありがたいものです。教師冥利に尽きるということでしょうか。お世辞でもうれしいです。

またBさんは、学級の取り組み目標である「1日1回手を挙げる!」を意識してくれています。これもありがたいことです。

みなさんに忘れてほしくないのは、褒めてもらえるのは、みなさんの努力はもちろんですが、それを見つけてくださる先生方の温かい目があるということです。先生方はよく観てくださっています!

期末テストの真っ最中・・・あれこれ・・・

今日から期末テストが始まりました。準備を十分して臨んでいるでしょうか？これに関しても、ここ数日の「生活ノート」の書かれたものをいくつか紹介しますので、自分の刺激や参考にしてほしいと思います。

今日もたくさん勉強をした。金、土、日、月の4日間で13時間勉強した。今日で漢字練習や英単語練習が終った。これから文法やワークなど、さらに細かい勉強をして完璧にしたい。(D)

▲Dさんの意気込みが伝わってきます。きっと繰り返しの点検が念入りでしょう。

今日は、学校が早く終わって家でたくさん勉強できた。昨日配られた用紙に書いてあった「転写法」なども使って授業で覚えたことをちゃんと暗記したい。そして期末の点数を上げたいと思う。(E)

▲Eさんのように「転写法」を実施している人がクラス内に数人います。

今日はHさんと一緒に帰りました。帰り道にテストについていろいろ話しました。帰るときも、ちょっと問題を出し合ったりして楽しかったです。帰りの時間も、ただ帰るだけじゃなくて、問題を出し合うのもいいな、と思いました。(G)

▲GさんとHさんは、時間の使い方が上手です。問題の出し合いは、記憶のあいまいさなどがよくわかります。

///テストへの取り組み///努力と結果は？

努力は力となる！

努力したから期末テストで必ず良い点が取れる、というほど単純ではありません。すぐに点数に結びつく部分もありますが、あんなにやったのに点数が悪かったなどということはよくあることです。

では、努力は無駄であったかという、決して無駄ではありません。点数に表れなくても、そこでつけた力は尊いものです。その人の将来のいずれかの場面で必ずその力が生きます。

結果は将来に結びつく

点数が良からうが悪からうが、それは自分自身で取ったものです。現時点での点数は軽視できません。成績に直接結びついていきますし、進路決定にも大きく影響するからです。

今の世の中は、中卒で働き抜くにはあまりにもきびしい状況が待っています。就職の条件や資格を取るにも、高卒以上や大卒を求められることが多いからです。勉強は、広い進路選択のためにもどうしても必要です。